

第26期日本学術会議物理学委員会（第15回）

議事要旨

日時：令和8年5月30日（土）15：00～17：00

会場：オンライン会議

出席者：市川温子、奥村幸子、腰原伸也、櫻井博儀、常行真司、森初果、青木慎也、浅井歩、
生田ちさと、板倉明子、梶田隆章、五神真、田村裕和、寺崎一郎、根本香絵、

肥山詠美子、福嶋健二、藤澤健太、松尾由賀利、道園真一郎、山崎典子、渡部潤一

欠席者：杉山直、網塚浩、飯嶋徹、齊藤直人、瀧川仁、野尻美保子、藤澤彰英

議題

1. 東京大学物性研究所協議会委員候補者について
2. 総会における、今後の学術会議の在り方に関する会長報告の説明（資料1）
3. 総会における討議内容報告（資料1）
4. 分科会報告と討議内容報告（資料2）
5. 分科会で依頼のあった、博士人材の分野ごとの現状と問題点執筆について（資料3）
6. 2029年の国連の国際年International Year of Asteroid Awareness and Planetary Defenceとそれに関する意思の表出について（資料4）
7. カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用第2回「水素を使う」（仮）の共同主催依頼について（資料5）
8. 27期への申し送り事項（案）について（資料6）
9. 物教分科会開催フォーラムとそこでの討議の記録、出版準備について
10. その他

科学者委員会ジェンダーエクイティ分科会の活動（提言発出）とフォーラム開催について

配布資料

- 【資料1】総会における会長報告、説明
- 【資料2】第三部会資料
- 【資料3】分野別委員会への第三部WGよりの依頼
- 【資料4】2029年国連国際年について
- 【資料5】カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用
第2回「水素を使う」（材料工学仮提案）共同主催依頼
- 【資料6】27期への申し送り事項案

議事

1. 東京大学物性研究所協議会委員候補者について
腰原委員長より報告があり、候補者の内諾を取ったうえで、4名を推薦した。

2. 総会における、今後の学術会議の在り方に関する会長報告の説明

資料1に基づき、腰原委員長から27期より始まる新体制の準備状況などについて以下の点の進捗報告があった。

26期から27期の会員選考、連携会員の継続、総会の頻度、会長特別補佐および役員会の設置、3部制の維持、物理学委員会の分科会構成の継続

3. 総会における討議内容報告

腰原委員長より、資料1に基づき、総会での討議内容について報告があった。

4. 分科会報告と討議内容報告

腰原委員長より、資料2に基づき、第三部会での討議内容について報告があった。

5. 分科会で依頼のあった、博士人材の分野ごとの現状と問題点執筆について

腰原委員長より、資料3に基づき、第三部附置理工系博士人材育成分科会から博士人材を取り巻く現状などに関する「所感」について執筆依頼があり、物理学委員会の執筆担当委員について報告があった。報告後の意見交換で、博士課程を教育全体のなかで議論することの重要性が指摘され、文科省、物理学委員会、数学委員会などで行われている議論が紹介された。

6. 2029年の国連の国際年International Year of Asteroid Awareness and Planetary Defenceとそれに関する意思の表出について

渡部委員より、標記の「意思の表出」に向けた今後の活動について資料4に基づき説明があり、物理学委員会の賛同を得た。

7. カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用第2回「水素を使う」(仮)の共同主催依頼について

板倉委員より、標記のシンポジウムについて説明があった。今後、正式な共同主催依頼があれば、物理学委員会として承認することとした。

8. 27期への申し送り事項(案)について

腰原委員長より、資料6に基づき、27期への申し送り事項が提案され、引き続き議論を行うこととした。

9. 物教分科会開催フォーラムとそこでの討議の記録、出版準備について

腰原委員長より、昨年11月に開催されたフォーラムでの討議について、記録を出版することが報告された。

10. その他

森委員より科学者委員会ジェンダーエクイティ分科会の活動(提言発出)とフォーラム開催について報告があった。報告内容は、3月に発出した提言の内容を8月1日のシンポジウムで発表すること、包括的反差別法の提言についてもまとめる予定でこれに関するシンポジウムは8月30日に実施されること、であった。